

「電腦人間 広島を歩く」～電腦を超えろ～

【参加者 19名】

令和6年3月4日(月)～3月5日(火)

活動場所:広島県内・広島市内

第5回までのプログラムでは、自分の苦手を知り、それを補うために電子機器の使い方(読む・聞く・覚える・調べる・まとめる・伝える等)について学んできた。一方、第4回・5回では、人とつながるよさも実感した。今回は今年度のLEARN in 広島の集大成。これまで学んだこと全てを生かし、電子機器のよさと体験するよさの融合をはかり、今後の自分たちの生活について考える材料とする。

◆ 1日目 (3月4日)

事前テスト(白地図を見て県内の市町名と位置を回答)を実施し、答えられなかった市町から調査する地域を決定

<ミッション> ※ 音声で伝達

「〇〇市(町)に行って、そこでしか体験できないことを調査せよ」

(広島市中区・呉市・竹原市・廿日市市・海田町・北広島町・三原市)



答え合わせ・自己採点



聞くことや覚えることが苦手な参加者は電腦を活用。



調査場所までは、**電子機器**を、調査場所では、**五感**を使って調査



【広島市中区：レストハウス他】

触って確かめてみよう。

【北広島町：古保利古墳群他】



足を運んでみないと、古墳の特徴は分からない。



【竹原市：たけはら町並み保存地区他】



市役所でけん玉について聞いてみよう。

【廿日市市：廿日市市役所他】



【海田町：大師寺、織田幹雄記念館他】



【呉市：てつのくじら館他】



駅員さんがいなくて困った。無人駅が増えている理由を調べてみよう。

【三原市：本郷駅他】

電子機器だけでは味わえない体験から学びました。

◆ 2日目 (3月5日)

※ 文字で伝達

<ミッション> 「調査したことを広島県民に伝えよ」
～〇人から「へえ」をもらえ～



緊張しながらも初対面の人と話す。



それぞれの得意なことを生かして役割分担。



人と話すのは苦手だな。

道行く県民の方からの評価(シールを貼ってもらう)

- ①もっと詳しいこと知ってるよ。
- ②知ってる。
- ③聞いたことはあったけど、詳しく知れて良かった。
- ④知らなかった。そうなんだ。

プレゼン

報告・振り返り

- ◎ 電腦人間とは？
- ◎ 自分の得意をどう活かせた？
- ◎ 自分の苦手をどう補った？
- ◎ 電腦を超えることはできた？



電子機器とアナログの長所を生かしたり短所を補ったりすることが大切。



少しずつ人と話すことに慣れてきた。

- ・画像と実物は色が少し違うことが分かった。
- ・電子機器と電子機器以外を使って自分の苦手を

克服することが電腦を超えるということだと思う。
・匂いを嗅いだり、実際に手で触ったりすることは機械ではできない。